JAMS
Japan Association for Management Systems

JAMS NEWS

日 本 経 営 シ ス テ ム 学 会
http://www.jams-web.jp/

日本経営システム学会　第 74 回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥こととお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第 74 回全国研究発表大会が 2025 年 5 月 31 日（土）、6 月 1 日（日）に開催されます。多くの会員の皆さまのご参加およびご発表を心よりお待ちしております。

記

開 催 日：2025 年 5 月 31 日（土）、6 月 1 日（日）
主 催 校：東京大学　本郷キャンパス
〒113-8654 文京区本郷 7-3-1 工学部 3 号館（安田講堂に向かって左奥の建物）
交通アクセス　https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/campus-guide/map01_02.html
工学部 3 号館　https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_04_j.html
開催形式：対面での実施
連 絡 先：大会実行委員長　東京大学　川中孝章　E-mail:kawanaka@cce.t.u-tokyo.ac.jp
副委員長　東京大学　田中謙司　E-mail:tanaka@tmi.t.u-tokyo.ac.jp
主　　催：日本経営システム学会
統一論題：「ものづくり・コトつくり・経営システム」
参 加 費：会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、協賛学会員・同学生会員はそれぞれ会員・学生会員と同額、非会員 6,000 円、非会員学生 4,000 円（当日支払は各 1,000 円高）
※参加人数の事前把握と受付混雑緩和のため、事前の参加申込へのご協力をお願いいたします。
懇親会費：会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、協賛学会員 5,000 円、非会員 6,000 円
（当日支払各 1,000 円高）。準備の関係上、事前申し込みをお願いします。
昼　　食：5 月 31 日（土）、6 月 1 日（日）ともに学内の中央食堂およびコンビニエンスストアが利用可能です。周辺にも飲食店が多数ありますのでご利用下さい。
宿　　泊：大学まで 30 分圏内に、多くのホテルがございますのでご利用下さい。
参加申込：本 JAMS NEWS に同封の振込用紙または HP の振込方法を参考に 5 月 23 日（金）までに上記金額をお振込み下さい。期限後に振込みされた方は振込控えまたはコピーをお持ち下さい。

■会場設備について
発表会場の PC の準備はございません。各自 PC をご持参ください。なお、発表会場にあるプロジェクタとの接続ケーブルは，HDMI のみとなります。もし HDMI 接続端子が装備されていない PC をお持ちの方は、HDMI 変換アダプタもご持参ください。

■大会会場へのアクセス
最寄り駅からのアクセス
・本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線）より徒歩 15 分
・本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線）より徒歩 13 分
・湯島駅又は根津駅（地下鉄千代田線）より徒歩 6 分
・東大前駅（地下鉄南北線）より徒歩 7 分
・春日駅（地下鉄三田線）より徒歩 12 分

■研究発表に関する細則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して「研究発表細則」（学会ホームページ http://www.jams-web.jp/download/jams-kenkyuuhappyou.pdf）に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この細則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

■学生研究発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生研究発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい。

・学生セッションの発表は、正会員との連名とし、ファースト・オーサーは学生とします。
・学生セッションでの単独発表は、正会員の学生に限ります。
・学生研究発表優秀賞の受賞対象者は、単独発表、連名発表のファースト・オーサーの学生のみとします。
・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず 2 頁とします。

第 23 期被選出常任理事選挙ならびに会長選挙の結果報告

役員選出委員会 委員長　川中孝章

会員の皆様には被選出常任理事選挙にご協力いただき、誠にありがとうございました。日本経営システム学会・被選出常任理事選挙の開票作業を 2025 年 1 月 29 日(水)に実施した結果、下記の 15 名が第 23 期の被選出常任理事に選出されました。

被選出常任理事当選者（敬称略，選挙届出順）

村山　　誠（島根県立大学）
東海　詩帆（横浜商科大学）
板倉　宏昭（東京都立産業技術大学院大学）
水上　祐治（日本大学）
柳田　義継（横浜商科大学）
深澤　琢也（東京富士大学）
上原　　衞（愛知淑徳大学）
佐々木桐子（新潟国際情報大学）
金子　勝一（山梨学院大学）
西口　宏美（東海大学）
寺本　佳苗（麗澤大学）
村山　賢哉（共愛学園前橋国際大学）
江口　翔一（大阪工業大学）
毛利進太郎（神戸学院大学）
柴田　淳子（神戸学院大学）

その後、上記の被選出常任理事の方々により郵送投票による会長選挙を実施し、2025 年 2 月 27 日(木)、日本経営システム学会事務局において、会長選挙投票の開票を実施した結果、金子勝一先生が第 23 期の会長に選出されました。

以上の通り被選出常任理事選挙ならびに会長選挙の結果を報告させていただきます。

第74回　日本経営システム学会　全国研究発表大会　プログラム

統一論題：「ものづくり・コトつくり・経営システム」

開催日：2025年5月31日（土）～6月1日（日）　会場：東京大学 本郷キャンパス 工学部3号館

【5月31日（土）】 受付開始10:00～（場所：東京大学本郷キャンパス 工学部3号館、受付：安田講堂側玄関前（玄関は2階です））

時　間	会場
10:30～11:00	評議員会（2階 31号講義室）
11:10～12:10	理事会（4階 424/423会議室）
12:15～12:45	各種委員会（2階～4階の会議室を利用。表彰委員会（3階演習室5（317室））

時　間	会場（2階 31号講義室）
12:45～12:50	実行委員長挨拶　東京大学　川中　孝章 会長挨拶　大阪工業大学　椎原　正次
12:50～13:50	総会
13:50～14:00	表彰式

時　間	会場（2階 31号講義室）
14:10～15:10	基調講演：「街じゅうを「駅前化」するインフラをつくる」 株式会社Luup 代表取締役CEO　岡井 大輝 氏
15:10～15:30	休　憩

時　間	A会場 （一般：3階 33号講義室）	B会場 （一般：3階 322/321ラウンジ講義室）	C会場 （一般：4階 424/423会議室）	時　間	D会場 （学生：4階 34号講義室）	E会場 （学生：4階 35号講義室）
	司会　調整中	司会　調整中	司会　調整中		司会　調整中	司会　調整中
15:30～16:00	日本企業におけるAIガバナンスと多様性経営 ＊追手門学院大学　齊藤　絵理子	An Analysis of Patents Act 223 in Bangladesh: Preparing for Graduation from LDC= （ニューノーマル研究部会） ＊大阪大学□ Yaeko Mitsumori Stockholm University　Mbnirul Azam	コミュニケーション・ネットワークにおける平均到達距離と負荷密度を考慮したファジィ・エントロピー・モデル （経営品質科学部会） ＊福知山公立大学　鄭　年皓 明治大学　山下　洋史	15:30～15:50	企業間取引ネットワークにおけるイベント駆動型株価変動予測の試み ＊早稲田大学　胡　盛皓 早稲田大学　大野　高裕 東京大学　川中　孝章	技術受容視点によるオンラインサービス設計モデルの提示－高感性価値の指向によるアプローチ－ ＊早稲田大学　内田　晃秀 早稲田大学　三原　康司
				15:50～16:10	ユーザーのイメージ認知に基づく軽EVのフロントデザイン作成方法の提案 ＊早稲田大学　木口　朋哉 立正大学　松野　思迪 立命館大学　枝川　義邦 東京大学　川中　孝章 早稲田大学　大野　高裕	米国を中心としたスノーボードメーカーにおける特許分析 ＊東北大学　飯塚　雅斗 東北大学　永松　陽明
16:00～16:30	2次相続まで考慮した最小納付税額を与える配偶者への配分比計算システムの開発 ＊長岡技術科学大学　淺井　達雄	産学官民協創の組織メカニズムの一考察 （ニューノーマル研究部会） ＊豊橋技術科学大学　藤井　享	日本の系列企業群におけるプロパー社員と非プロパー社員の比較分析 （経営品質科学部会） ＊福知山公立大学　宇田川　博文 明治大学　山下　洋史	16:10～16:30	観光地における回遊行動に着目した観光プラン構築モデルの提案 ＊早稲田大学　長谷川　拓志 早稲田大学　大野　高裕 立正大学　松野　思迪 東京富士大学　高田　真也	デジタルヘルス産業:アジア3カ国における国境を越えた東アジア3ケ国政策比較--中国、日本、韓国－ ＊立命館大学　馮　翰林 立命館大学　枝川　義邦
16:30～16:40	休　憩					
	司会　調整中	司会　調整中	司会　調整中		司会　調整中	司会　調整中
16:40～17:10	地方自治体におけるガバメントクラウドの進捗に関する一考察 ＊千葉商科大学　仲野　友樹 東北大学　永松　陽明	アセアン地域における医薬品の特許保護の現状と課題 （ニューノーマル研究部会） ＊日本大学　加藤　浩	新たな経済的レントを生み出すための人的資本投資に関する意思決定の研究 （経営品質科学部会） ＊産業能率大学　高坂　一郎 明治大学　山下　洋史	16:40～17:00	横須賀市におけるイベント開催時の人流データを用いた来訪者の回遊地点と回遊順序の分析 ＊神奈川大学　生越　莉乃 神奈川大学　目片　悠貴 神奈川大学　片桐　英樹	生成AIの導入によって組織内部の内発的な動機づけに与える影響の考察 ＊立命館大学　PAN ZIHAO 立命館大学　澤口　学 立正大学　松野　思迪
				17:00～17:20	折衷献立における各様式の料理の提供頻度を考慮した学校給食の自動献立作成 ＊神奈川大学　瀧口　真由 神奈川大学　目片　悠貴 神奈川大学　片桐　英樹	新製品創出における発明的アナロジーの活用 ＊立命館大学　長島　達浩 立命館大学　長平　彰夫
17:10～17:40	日本における下水処理普及状況の実証分析 ＊東北大学　小茄子川　智弘	オンライン授業による情報教育の研究 ＊グリーンライン中京　吉田　伸生	オートポイエティック感性経営デザイン　－思考展開法によるトップマネジメントの内発的動機付け－ ＊早稲田大学　三原　康司	17:20～17:40	バイオテクノロジー分野における日米の研究開発投資と動向解析 ＊山口大学　芹澤　覚子 山口大学・日本工業大学　岡本 和也 大阪大学　御堂 義博	森林管理制度の国際比較に基づく比較制度分析 —ドイツ・スイス・日本の制度的相違と森林経営の持続性への影響 ＊立命館大学　眞鍋　貫治 立命館大学　湊　宣明
17:40～18:00	休　憩（懇親会会場設営）					
18:00～19:30	懇親会 （工学部2号館展示室） 主催校挨拶　東京大学大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻長　西野成昭 氏					

【6月1日（日）午前】 受付開始9:30～（場所：東京大学本郷キャンパス 工学部3号館、受付：安田講堂側玄関前（玄関は2階です））

時　間	A会場 （一般：3階 33号講義室）	B会場 （一般：3階 322/321ラウンジ講義室）	C会場 （一般：4階 424/423会議室）	時　間	D会場 （学生：4階 34号講義室）	E会場 （学生：4階 35号講義室）
	司会　調整中	司会　調整中	司会　調整中		司会　調整中	司会　調整中
10:00～10:30	メタバースと現実世界のターミナル連携による地方創生の可能性 ＊ピーオーピーオリジン　　沼澤　拓也 札幌大学　　堀江 育也	モジュールの共通化による高効率なサービス設計・運営方式の検討 ＊駒澤大学　　杉西　優一 東北大学　　永松　陽明	経験駆動型人工知能による創造の可能性に関する基礎研究 ＊流通科学大学　　持田　信治	10:00～10:20	外部環境要因を用いたアニメ映画興行収入予測モデルの精度向上に関する研究 ＊東京大学　　西岡　典生 東京大学　　田中　謙司	ストーリー提案型売場における 購買トリガーの実証研究 ＊早稲田大学　　天野　譲滋 立命館大学　　枝川　義邦 東京大学　　川中　孝章 早稲田大学　　大野　高裕
				10:20～10:40	リードタイムの変化に着目したサプライチェーンリスク影響の伝播メカニズムに関する研究 ＊立命館大学　　韓　燦 立命館大学　　田中　邦明 日本大学　　日比野　浩典	日本におけるライブコマースが消費者行動に及ぼす影響分析 ＊早稲田大学　　陳　凌夫 立命館大学　　枝川　義邦 立正大学　　松野　思迪 東京大学　　川中　孝章 早稲田大学　　大野　高裕
10:30～11:00	ファッション企業のメタバース活用の現状について ＊文化ファッション大学院大学　　山岡　真理	仙台市青葉山周辺道路の交通シミュレーションモデルの構築 ＊新潟国際情報大学　　佐々木　桐子 東北大学　　永松　陽明	経験駆動型人工知能による意思決定の可能性に関する基礎研究 ＊流通科学大学　　持田　信治 横浜国立大学　　満行　泰河	10:40～11:00	アルゴリズム嫌悪は克服できるか：政府チャットボット受容における政府信頼の調整効果 ＊立命館大学　　SONG YIFAN 立命館大学　　名取　隆	アニメツーリズムにおけるアニメ関連活動と地方旅行活動が中国旅行者の再訪意向に及ぼす影響分析 ＊早稲田大学　　王　一欽 早稲田大学　　大野　高裕
11:00～11:10	休　憩					
	司会　調整中	司会　調整中	司会　調整中		司会　調整中	司会　調整中
11:10～11:40	地方消滅と過疎地域の関係性 －地方消滅 2で33の消滅可能性自治体が追加された福島県の事情－ ＊福島大学　　國分　一典 福島大学　　樋口　良之	社会的規範の変化とスタートアップ市場のダイナミクス ＊東北学院大学　　藤　祐司 東北大学　　永松　陽明	製品企画・開発における失敗と成功要因の活用の仕組み作りに関する研究 ＊技術士　　吉田　雅雄 立命館大学　　澤口　学	11:10～11:30	AI時代におけるエレクトロニクス業界のエコシステム解析 ＊関西大学　　倖　志陽 関西大学　　伊佐田　文彦	パネルデータ分析における個別効果と株価純資産倍率に関する考察 －日本と台湾の電子回路基板産業の実証分析から－ ＊早稲田大学　　山口　鐘畿 早稲田大学　　平井　裕久 東京大学　　川中　孝章 早稲田大学　　大野　高裕
				11:30～11:50	ヘルスレコードを活用した組織間連携における傾向調査 ＊関西大学　　尾高　匡 関西大学　　伊佐田　文彦	シャフト理論－ 材料力学によって企業の潰れにくさを解析する新理論の構築－ ＊早稲田大学　　山口　鐘畿 早稲田大学　　平井　裕久 東京大学　　川中　孝章 早稲田大学　　大野　高裕
11:40～12:10	自治体の経営評価指標の統合化に関する検討 ＊摂南大学　　久保　貞也 摂南大学　　林田　真依 摂南大学　　中村　結菜 摂南大学　　三木　僚祐	オープンデータを活用した旅行客数予測モデルの構築～北海道における実証研究～ ＊千葉商科大学　　櫻井　聡 横浜市立大学　　柴田　典子 東北大学　　永松　陽明	国内大企業とスタートアップ企業との間におけるオープンイノベーションの評価手法の提案 ＊立命館大学　　藤本 慎一郎 立命館大学　　澤口　学	11:50～12:10	郵便局の地理的ユニバーサルサービス提供状況の可視化―地理情報システムを活用した空間分析― ＊東洋大学　　沼倉　弘幸 東洋大学　　野中　誠	地経学的視点による政府・企業がとるべき行動に関する研究 ＊サセックス大学大学院　　鳴村　栄倖 筑波技術大学　　鳴村　幸仁
12:10～13:00	休　憩（各種委員会：2階～4階の会議室を利用、表彰委員会（3階演習室5（317室）））					

【6月1日（日）午後】 13:00～（場所：東京大学本郷キャンパス 工学部3号館、受付：安田講堂側玄関前（玄関は2階です））

時 間	A会場 （一般：3階 33号講義室）	B会場 （一般：3階 322/321ラウンジ講義室）	C会場 （一般：4階 424/423会議室）	時 間	D会場 （学生：4階 34号講義室）	E会場 （学生：4階 35号講義室）
	司会 調整中	司会 調整中	司会 調整中		司会 調整中	司会 調整中
13:00～13:30	企業の市場調査を考慮した新商品普及モデルとキャズムの検出 ＊青山学院大学　岩田 遼 青山学院大学　熊谷 敏	ソフトウェア開発における生成AIの活用について ＊三条市立大学　泉 丙完□	学習時点支援教育情報システムの構築 ＊大阪工業大学　藤田 弘典 大阪工業大学　能勢 豊一	13:00～13:20	DXの進展は企業の労働生産性を高めることができるのか？ ＊東洋大学　国頭 正樹 東洋大学　野中 誠	地域の特徴が自治体情報化に与える要因 －デジタル田園都市国家構想の実装状況に関する分析－ ＊摂南大学　西口 英里 摂南大学　中村 結菜 摂南大学　久保 貞也
				13:20～13:40	デジタルアライアンスが企業成果に至るための条件分析 ＊東洋大学　内村 健一 東洋大学　野中 誠	消費者の心理状態を考慮した購買量の変化に関する研究 －隠れマルコフモデルを用いた状態変化の把握－ ＊東海大学　江澤 美花 東海大学　福井 悠斗 東海大学　田畑 智章
13:30～14:00	アフィリエーションネットワークによる検証型の動的高効用アイテムセットマイニング ＊青山学院大学　岩田 遼 青山学院大学　熊谷 敏	日本製造業における異業種間競争による新産業の創出 ＊京都経済短期大学　今橋 裕 法政大学　玄場 公規	情報システム部門の支援的リーダーシップがDX推進に与える影響 ＊立命館大学　横田 修一 立命館大学　古田 克利 立命館大学　田中 邦明	13:40～14:00	小規模事業の第三者承継における後継者の動機と直面する障壁 ＊東洋大学　安田 耕大 東洋大学　野中 誠	ワークライフバランスシートの応用可能性について ＊東海大学　赤石 玲子 東海大学　江澤 美花 東海大学　田畑 智章
14:00～14:10	休　憩					

時 間	A会場 （一般：3階 33号講義室）	B会場 （一般：3階 322/321ラウンジ講義室）	C会場 （一般：4階 424/423会議室）	D会場 （一般：4階 34号講義室）	時 間	E会場 （学生：4階 35号講義室）
	司会 調整中	司会 調整中	司会 調整中	司会 調整中		司会 調整中
14:10～14:40	マルコフ連鎖による新宿駅周辺の人流変化 ―都市構造の変化と交通施設の影響 ― ＊日本大学　鈴木 邦成	わが国におけるProactive 型ビジネスの推進とBPR上の課題に関する研究 ＊立正大学　金森 孝浩	AIによる感情スコアの自動定量化とテキストマイニングの実践的応用 ―数値化された感情が拓く分析の可能性― ＊東京都立産業技術大学院大学　板倉 宏昭	停車駅数削減による時間価値を考慮したSPMIに関する研究 ＊玉川大学　原 洋平 千葉工業大学　小野 浩之	14:10～14:30	フードデリバリーサービスにおける配達遅延のタイプ分類 ＊東海大学　三好 瑠奈 東海大学　江澤 美花 東海大学　福井 悠斗 東海大学　田畑 智章
					14:30～14:50	潜在的ディリクレ配分法を用いた歌詞によるトレンドの推定 ＊東海大学　井田 光祐 東海大学　福井 悠斗 東海大学　江澤 美花 東海大学　田畑 智章
14:40～15:10	SDGs視座からの将来バイオ医薬品製造に関する考察 ＊日本工業大学　友田 裕康 日本工業大学　岡本 和也	オンラインとオフライン融合下におけるUX転換に関する研究 ＊立正大学　金森 孝浩	LLY曲率を用いたクラスタリング手法の提案と書誌データ分析 ＊統計数理研究所　本多 啓介	仕事の意味深さ(meaningful work)と共有価値創造の関係分析 ＊東京富士大学　高田 真也 早稲田大学　岩本 大輝		

経営モデル研究部会のお知らせ

経営モデル研究部会 2025 年度第 1 回研究部会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

開 催 日 時：2025 年 5 月 10 日（土）　15:00-17:00
開 催 場 所：ZOOM によるオンライン会議形式
発表予定者：調整中です。
連絡先：田畑　智章（東海大学）　TEL.03-3441-1171（代表）/E-Mail:tabata@tokai-u.jp
　〃　：金子　勝一（山梨学院大学）TEL.055-224-1337/E-Mail:kaneko.shoichi@c2c.ac.jp
研究部会 Web ページ　http://www.jams-web.jp/information/sectmm2025.html

ニューノーマル研究部会のお知らせ

ニューノーマル研究部会 2025 年度第 2 回会合（通算第 35 回）（政策分科会）

開催日時：2025 年 5 月 20 日（火曜日）　18 時 30 分～20 時
開催方法：ハイブリッド開催　（ZOOM＋対面）
対面開催場所：東京国際工科専門職大学　（対面参加者は先着 8 名様とさせて頂きます）
講演タイトル：「日本のバイオ戦略＝創薬エコシステムの構築に向けて」
講　　師：下田裕和様（経済産業省　生物化学産業課（バイオ課）課長）
講演内容：本講演では 3 つの話題についてお話したい。1 つ目は「創薬スタートアップエコシステムの強化」である。創薬には基礎から、実用化に至るまで幅広い研究開発能力と制度・規制の総合力が求められる。創薬エコシステムを構成する人材、産業、臨床の充実と発展に向けて、国際的な視野を踏まえ、日本にふさわしい総合的な政策を進めていくことが必要である。日本は昨年の創薬エコシステムサミットで、「日本国を、世界の人々の健康に貢献できる“創薬の地”とする」ことをコミットし、国を挙げて創薬エコシステムを推進していくことを宣言した。経済産業省では特に創薬ベンチャーの育成の観点から、国内外のベンチャーキャピタルを通じたグローバル創薬エコシステムの構築に取り組んでいる。2 つ目はワクチンとバイオ医薬品の製造拠点整備である。バイオ医薬品は製造技術が課題になることも多い。日本政府は、パンデミック時に国内でワクチンを製造できずにほぼ全量輸入に頼ることになってしまった経験から、バイオ医薬品およびワクチン製造のための拠点整備を進めている。これは創薬ベンチャーにとっても必要な環境整備であり、バイオ人材の育成にもつながっている。3 つ目が再生細胞医療、遺伝子治療分野の産業育成である。再生医療は日本の強みであり、iPS 細胞由来製品が今後数年間で多数上市する見込みであるが、その製造を担うべき国内 CDMO はまだ未成熟である。再生医療等製品の産業化に向けて国内エコシステムの構築を目指した経済産業省の施策について説明する。
講師略歴：1999 年、東京工業大学工学部卒業。1999 年、通商産業省（現 経済産業省）入省後、IT、サイバーセキュリティー、バイオテクノロジー、再生医療、ヘルスケアなどのイノベーション産業推進を担当。2016 年から 4 年間、JETRO（日本貿易振興機構）サンフランシスコ次長、World Economic Forum 第 4 次産業革命センターフェローとして、日系企業のシリコンバレー進出やグローバルコミュニティーへの参画を推進。22 年 7 月より現職。
参加方法：以下の URL から出席可否の登録をお願いします。ご登録締め切りは 2025 年 5 月 16 日 17 時です。https://forms.gle/U6suDt7TvudeFGKy8
オンライン参加のご登録者には後ほどＺOOM 招待状を送付させていただきます。
対面参加のご登録者には後ほど会場の詳細情報をお送りします。
※ご不明な点がございましたらご連絡ください。また今後会合のお知らせを希望されない方は下記までご連絡ください。
三森八重子· 大阪大学招聘教授　dt4y-mtmr@asahi-net.or.jp
上條浩一・東京国際工科専門職大学教授　kkamijoh@gmail.com
研究部会 Web ページ：http://www.jams-web.jp/information/sectnn2025html

ヒューマンリソース（ＨＲ）研究部会のお知らせ

ヒューマンリソース（HR）研究部会 2025 年度第 1 回研究部会（第 154 回）を開催いたしますので、ご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

開 催 日 時：2025 年 5 月 24 日（土）　15:00-17:00
開 催 場 所：ZOOM によるオンライン会議形式
Zoom の URL、ミーティング ID、パスコードは下記の通りです。
https://nihon-u-ac-jp.zoom.us/j/87848037164?pwd=54rTZMMFNjLwxCI4Oa6QbOr0QS6rvF.1
ミーティング ID: 878 4803 7164　　パスコード: 911890
発表予定者：
(1)「東京証券取引所における市場区分見直しの影響時期の分析」　　丸山 博之 氏（拓殖大学）
(2)「質的比較分析を用いた取締役会の構成と企業業績に関する一考察」
銀屋 凛 氏（日本大学）、水上 祐治 氏（日本大学）
連絡先（幹事）：金子勝一（山梨学院大学）　Tel.055-224-1337　E-mail:kaneko.shoichi@c2c.ac.jp
研究部会 Web ページ：http://www.jams-web.jp/information/secthr2025.html

2024 年度第 4 回理事会のまとめ

Ⅰ．開催日時：2025 年 3 月 31 日(月) 16：00～17：30
Ⅱ．開催場所：Zoom 形式
Ⅲ．出席者：椎原正次、板倉宏昭、鄭年皓、石田修一、今井正文、江口翔一、川中孝章、後藤智、柴田淳子、田畑智章、柊紫乃、深澤琢也、水上祐治、三森八重子、稲永健太郎、上西啓介、上原衛、奥井秀樹、金子勝一、佐々木桐子、佐藤修、谷崎隆士、東海詩帆、中井秀樹、林誠、堀江育也、村山賢哉、毛利進太郎、柳田義継、山下洋史、吉田健一郎、松丸正延 オブザーバー：寺本佳苗 記録者：江口翔一(敬称略)
Ⅳ．審議事項
審議事項に入る前に､会長よりオブザーバーとして寺本佳苗先生が参加されることが提案され了承された。
1．2024 年度第 3 回議事録の確認(江口)：審議事項 5 の記述内容に誤りがあることが指摘され、修正したうえで確定とすることになった。
2．会員の入退会について(江口)：正会員会希望者 2 名、学生会員希望者 9 名、正会員退会希望者 12 名、学生会員退会希望者 14 名で、2025 年 3 月 28 日現在、正会員 474 名、学生会員 208 名、特別会員 3 名となった。
3．第 74 回全国研究発表大会の準備状況について(川中)：第 74 回全国研究発表大会(於:東京大学本郷キャンパス)の準備状況について説明され、了承された。統一論題は「ものづくり・コトつくり・経営システム」、発表件数は 68 件（一般セッション 32 件、部会発表 6 件、学生セッション 30 件）となった。また、大会に関して急な審議が必要になった場合は、電子メールによる審議を適用されることが了承された。なお、第 74 回大会までは現在の各種委員会が担当することが確認された。
4．第 75 回全国研究発表大会について(佐々木)：第 76 回大会については東京都市大学での開催が決定している。第 75 回大会の開催校を検討した結果、12 月に久留米大学で奥井秀樹理事を実行委員長として開催することになった。
5．学会賞について(深澤)：2024 年「学会賞」「論文奨励賞」受賞候補者について推薦理由とあわせて説明され了承された。選考対象となる雑誌に IJAMS,Vol.15,No.1(2023)が含まれている理由の説明がなされた。表彰件数に関する規定および論文奨励賞受賞のための受賞資格の確認がなされ原案通り承認された。
6.総会議案書の作成について(江口)：総会議案書案における第 1 号議案および第 3 号議案に関する記述内容について確認し修正した。また、未提出の研究部会については催促し、継続審議となった。
7．2025 年度総会の開催通知について(江口)：総会および評議員会の開催通知案について説明され、了承された。
8．その他：役員の交代の手順ついて谷崎理事より質問があり、椎原会長より交代および理事・各支部長の選定の方法などについて説明があった。支部の口座における名義管理について柊理事より質問があり、椎原会長より予算および繰越金の扱いについて説明があった。繰越金の取り扱いなどについては、次期

の財務委員会に引き継ぎ、継続して検討することとなった。

Ⅴ．報告事項

1. 役員選挙の結果について(川中)：15 名の第 23 期常任理事が選出されたことが報告された。そして、金子勝一先生（山梨学院大学）が第 23 期会長として当選されたことが報告された。
2. ゆうちょ銀行口座の開設について(田畑)：日本経営システム学会名義のゆうちょ銀行口座が開設されたことが報告された。あわせて、基金をゆうちょ銀行の定期預金に移したことが報告された。
3. 第 73 回全国研究発表大会収支報告(毛利)：第 73 回全国研究発表大会の説明があった。参加人数 155 人、発表 87 件であり、大会の収支報告がなされた。
4. 第 73 回全国研究発表大会「学生研究発表優秀賞」(深澤)：理事会の電子メールの審議を経て、資料 II-4 の通り、5 名が学生研究発表優秀賞の受賞者が決定したことが報告された。
5. 総会資料の作成依頼(江口)：総会議案書を作成するために、各種委員会や支部などに対して活動報告や活動計画書を提出するように依頼したことが報告された。

入会者リスト　(2024.9.18～2024.12.3)

1．正会員入会希望者

氏　名	所　属	氏　名	所　属
岸本　樹	京都大学大学院	森下　颯斗	(株)ネオマーケティング
大庭　哲治	京都大学大学院	松永　充博	日本大学
濱田　ひろか	統計数理研究所	小田　哲明	立命館大学
井上 大地	株式会社 D2C	五明　通任	東京理科大学
三木　僚	祐摂南大学	佐古　めぐみ	早稲田大学

2．学生会員入会希望者

氏　名	所　属	氏　名	所　属
蛭田　竜矢	福島大学	佐久間　慧	東洋大学
片山　涼介	福岡工業大学	熊手　琳宮	東洋大学
古賀　矢響	福岡工業大学	島田　欧士	東洋大学
金升　将征	立命館大学	吉村　彩加	東洋大学
佐藤　翔神	奈川大学	櫻井　愛弓	東洋大学
寺﨑　万真	近畿大学大学院	峯村　星花	東洋大学
劉　雅婷	神奈川大学	船岡　柚希	東洋大学
瀧口　真由	神奈川大学	鴨志田 祥太	東洋大学
日出間　健	東京都市大学大学院	藤澤　佑麻	日本大学
川名　琴葉	日本大学	髙沢　彩人	日本大学
LI ZHIYUN	立命館大学	國立　晋平	東洋大学
神山　健太	神奈川大学大学院	中村　結菜	摂南大学
アニス ラマ	東京都市大学大学院	林田　真依	摂南大学
廣部　勝大	青山学院大学	董　子源	東洋大学野
齋藤　豪助	東北大学大学院	田村　涼	神奈川大学
小島　洋	早稲田大学大学院	五十貝　翼	神奈川大学
尾崎　佑樹	神奈川大学	並木　玲緒	東洋大学
三好　瑠奈	東海大学	丹下　智貴	東洋大学
井田　光祐	東海大学	大平　未宇	東洋大学
関根　希美	東洋大学	鈴木　大貴	東洋大学
阿岸　麗花	東洋大学	中埜 雅文	関西大学
中村　睦	東洋大学		

JAMS Japan Association for Management Systems
日本経営システム学会
住所　〒169-0073　東京都新宿区百人町 1-20-3　バラードハイム 703
TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185
E-Mail: keieisys@jams-web.jp